



One for Children, All for Children

久我山青光学園

学園便り 10月号

校長 宮田 守

令和6年9月30日発行

たくさんの笑顔とともに！

副校長 堀越 貴美子

9月に入り2週連続で知的障害教育部門の小学部5年生と6年生の移動教室がありました。小学部5年生は初めての宿泊学習です。事前学習を重ねていよいよ当日を迎えました。昼食のカツカレーを楽しみにしている子、お風呂を楽しみにしている子、友達と一緒に寝るのを楽しみにしている子など、一人一人のわくわくが伝わってきました。そんな中、ある児童が移動教室のしおりのスケジュール表を握りしめ、先生からの言葉掛けとスケジュール表をたよりに頑張っていた姿がとても印象的でした。また、2日目の午前中、外遊びの時に、今度は別の児童が泣いていました。建物の中に入り、スケジュール表で今後の活動を説明し、昼食を食べたら学校に帰ることを伝え、「分かった？」と聞くと、なんと「うん」とうなずいて泣き止んだのです。本校では様々な授業で「時間の構造化」をしながらスケジュール表を用いて活動に参加することを繰り返していきますが、改めて見直しをもちながら活動に参加する力を育てていくことの大切さを実感しました。そしてこの2学年の移動教室では、普段と違う環境のなかで、友達や先生との関わりを深めたり、染物や調理などの体験を行ったりするなかで、たくさんの笑顔を見ることができました。

9月17日(火)には「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」が行われ、元歌のおにいさんとバイオリン奏者の方による音楽活動がありました。バイオリンの生演奏はとても迫力があり、また元歌のおにいさんを知っている子供たちも多く、笑顔で歌って踊って大いに盛り上がりました。11月には久我山青光フェスタもあります。たくさんの笑顔とともに、充実した教育活動が行えるよう、今学期も教職員一同尽力していきます。

視覚障害教育部門 中学部 大谷 尚毅

9月6日(金)の放課後から7日(土)の朝までの期間に、両部門中学部2年生を対象に一泊二日宿泊防災訓練を実施しました。大地震などでの被災や避難生活を想定した防災訓練です。

内容は、火災時に備えた消火訓練や煙体験、防災グッズ作りや被災時の歩行体験、外部講師の先生による防災講話などを行いました。

夕食と朝食は、災害時を想定した非常食(夕食:カレー、朝食:ライスクッキー、シチュー)を食べました。夜は校内の教室で床に毛布を敷いて就寝しました。

初めて行う活動や体験ばかりで、生徒たちは興味をもって取り組むことができました。慣れない場所での就寝にはなかなか眠れなかったり体が少し痛くなったりした生徒もいましたが、非常食については「意外とおいしい」という声が多くあがりました。



知的障害教育部門 小学部5年 前田 拓磨

9月5日～6日の一泊二日で、高尾の森わくわくビレッジで移動教室を行いました。2学期に入っすぐの宿泊行事でしたが、子供たちは夏休み中も楽しみにしており、充実した移動教室となりました。

1日目は、染物体験を行いました。無地のエコバックを輪ゴムで縛り、模様を作りました。その後専用の塗料で色をつけていきました。赤、青、黄色を選択し、量を調節しながら、個性あふれる作品を完成させることができました。

就寝の際には、友達と協力して布団を敷く姿が見られました。二人一組で声を掛け合いながら、布団を運ぶこともできました。昨年度から練習を積み上げてきた成果が発揮できました。

その他にも、みんなで御飯を食べたり、レクリエーションを行ったり、入浴したりと、行動を共にして活動する楽しさを味わうことができました。2学期は久我山青光フェスタがあります。今回の学習を通して身に付けた集団の力を、再び発揮できるようにしていきます。



【大切なお知らせ】

●6月号より、学園便りはClassi 東京都版での配信となりました。御不明な点等ございましたら、学校まで御連絡をお願いいたします。